



読者調査連動シリーズ企画 「モノづくり設計者のワークスタイル調査」 ～モノづくりのニューノーマルを探る～

お申込締切

プラチナ／ゴールドプラン：2020年12月4日（金）

シルバープラン：2020年12月18日（金）

アンケート実施予定：2020年12月中旬～2021年1月中旬

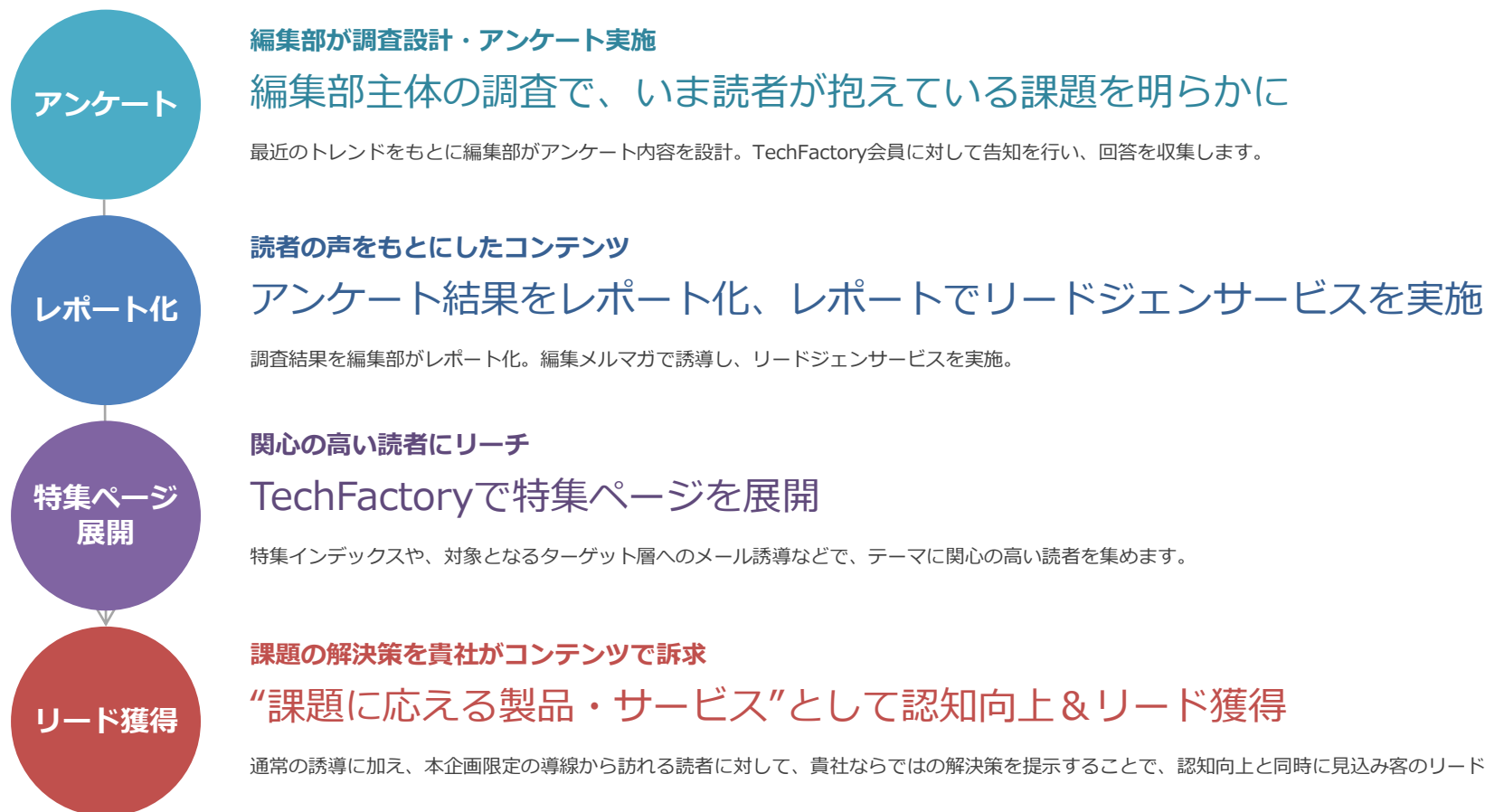
キャンペーン期間予定：2021年1月下旬～2021年3月下旬



読者調査連動シリーズ企画 ～ 製造業の現場で起きている課題と、その解決策

本企画は、TechFactory編集部がテーマを変えて実施する読者調査と連動した広告特集です。協賛企業様には、特集ページへのコンテンツ掲載、並びに調査レポートからの誘導など「課題に応える製品・サービス」としての認知向上と、リード獲得を実現することができます。

企画の流れ





コンテンツなしでもリード獲得可能

アンケート結果をレポート化。そのレポートでリードジェンサーサービスを実施。
製造業向けのコンテンツなしでも興味・関心の高いリード取得が可能です。



調査レポートからの誘導

編集メルマガによる特集告知・調査レポートへの誘導を実施。
編集部作成の**調査レポートからの貴社コンテンツ誘導**も実施いたします。



お得なプラン

最大90万円OFFのプランをご用意。
本企画限定の特別価格でご提供いたします。

「モノづくり設計者のワークスタイル」に関する読者調査

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大対策として、リモートワークなどの新たなワークスタイルの導入が広がっている昨今。製造業においても足元の感染拡大防止という観点だけでなく、Withコロナ／アフターコロナ時代を見据え、中長期的な視点で新たな働き方を模索する動きが出ています。

本調査では製造業に従事する設計者を対象に、こうしたコロナ禍におけるワークスタイルや設計環境の変化について調査を実施。リモートワークの実施状況などに加え、こうした新たな働き方を実施する上での業務上の課題についてヒヤリングを行います。

同時にリモートワークを行う中で感じた設計ツールに関する課題や、クラウドの利用状況など、設計環境についての現状と課題についても調査を実施。コロナ禍におけるモノづくり設計者のリアルな現状を浮き彫りにします。

アンケート項目（案）

■ 現在、リモートワーク／テレワークを実施していますか？
（頻度は問いません）

- ・実施している
- ・実施していない

■ リモートワーク／テレワークを実施していない理由は
なぜですか（複数回答可）。

- ・そもそもリモートワーク／テレワークが会社から許可されていないため
- ・必要な設計環境（ハードウェア／ソフトウェア）が整っていないため
- ・設計データの共有が難しいため
- ・デザインレビューなどの実施が難しいため
- ・ちょっとした試作や加工を行いたいため
- ・メンバー間や部署間のコミュニケーションが取れないため
- ・リモートだと若手人材の育成ができないため
- ・試作品や製品など実物がないと業務にならないため
- ・以前実施していたが、会社から出社（リモートワーク解除）の要請が入ったため
- ・以前実施していたが、必要がないと個人で判断したため
- ・自宅環境などでは設計業務に集中できないため
- ・その他（自由回答）

■ 関わっている設計業務について教えてください（複数回答可）

- ・機械・機構設計
- ・筐体設計
- ・治具設計
- ・熱設計
- ・意匠設計（外装デザインなど）
- ・板金設計
- ・金型設計
- ・その他（自由回答）

■ 今後、リモートワーク／テレワークを実施・継続する場合、
必要だと感じるものを教えてください（複数回答可）

- ・高性能なPC／ワークステーション環境
- ・柔軟に使用できるCADライセンス
- ・高解像度・大型のディスプレイ
- ・仮想デスクトップ（VDI）やリモートデスクトップ（RDP）環境
- ・クラウドプラットフォーム
- ・クラウドストレージ
- ・クラウド／SaaS型の設計環境
- ・コラボレーション／コミュニケーションツール
- ・高速なネットワーク環境
- ・3Dプリンタなどの試作環境
- ・AR／VR／MRを活用したレビュー環境
- ・特になし
- ・その他（自由回答）

特集ページ展開

- 編集メルマガで特集告知
- バナー広告による特集告知

編集部が作成した調査レポート、並びに貴社コンテンツを特集インデックスページに掲載します。編集メルマガでの特集告知、TechFactory上でバナー広告を掲載することで製造業読者に広く特集を告知いたします。



特集ページ イメージ

テーマに関連する編集記事

バナー広告

PDF版調査レポート

貴社コンテンツ紹介

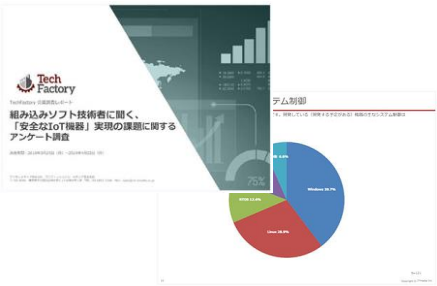
活発に情報収集する読者へのメール配信

リード獲得

- 調査レポートによるリード収集
- 貴社コンテンツによるリード収集

「調査レポート」もしくは貴社コンテンツを用いて、テーマに則した読者を対象としたリードジェネレーションを実施します。

調査レポート イメージ



貴社コンテンツ イメージ

① プラチナ／ゴールドプラン限定特典

特集ページに**ロゴ掲載**

調査レポート閲覧ページに
ロゴ掲載&コンテンツ誘導枠

 **テーマに関心の高い会員を誘導**

特集ページ イメージ

調査レポート イメージ

貴社コンテンツ イメージ



②プラチナ／ゴールドプラン限定特典（タイアップ記事に限りです）

MONOistトップページ／記事ページから、
MONOist読者を貴社タイアップ記事へ直接誘導

MONOist TOPページ

MONOist 記事ページ

誘導枠

貴社コンテンツ イメージ

MONOist Tech Factory Special

貴社コンテンツ イメージ

調査レポートでのリード獲得について

調査レポートを閲覧したテーマに関心の高い会員のリードを獲得

調査レポートを閲覧する＝何かしらの課題意識を持って情報収集を行っていると考えられます。特定のプランにご協賛いただくと、PDF版の調査レポートを閲覧した、テーマに関心の高い会員のリード情報をご提供します。

ダウンロード前アンケート

調査レポートをダウンロードする前に、アンケートに答えていただき、リードの付加情報としてご提供させていただきます。

- 設問例
- ・ 調査資料の閲覧目的
 - ・ 製品導入に関わる立場
 - ・ 現在抱えている課題

設問は当社にて設定させていただきます。集合型広告企画のため、個別のご要望には対応いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

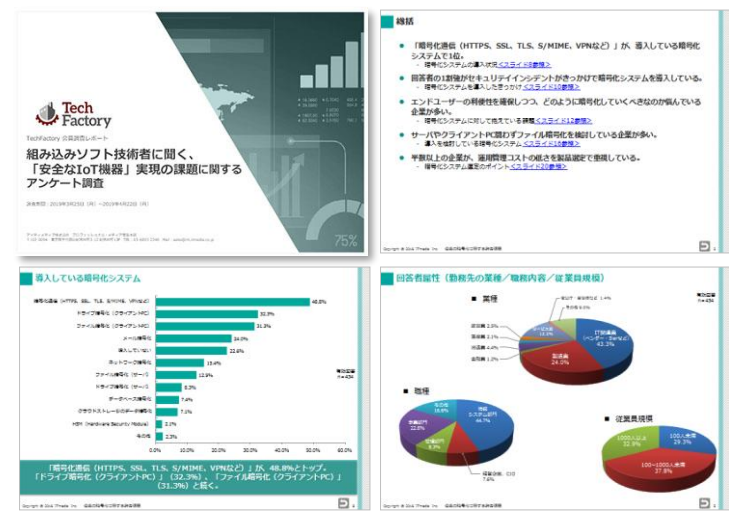
パーミッションの取得

ダウンロード時に、個人情報提供のパーミッション取得を行います。

パーミッション文は複数社様の連名になります。集合型広告企画のため、個別のカスタマイズには対応いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

PDF版調査レポート

アンケートに回答し、個人情報の提供に同意した会員は、調査レポートをPDFでダウンロードすることができます。



ダウンロードした会員のリード情報

レポートを閲覧した会員のリード情報をご提供いたします。なお、複数社様に協賛いただいた場合は、同じリード情報を全社でシェアする形となります。また、リード情報の納品は、企画終了後となります。

PDF版調査レポート ダウンロードページ

スポンサープラン

ご提供内容	プラチナ	ゴールド	シルバー	備考
①貴社コンテンツ リード獲得保証件数	150件	80件	—	属性はセグメントなしになります。 セグメント指定など、プランのカスタマイズは担当営業までご相談ください。
タイアップ	1本	1本	—	
ホワイトペーパー ※お手持ちのコンテンツのご用意をお願いします	1本	—	—	ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
②調査レポートでの リード獲得想定件数	60～100件	60～100件	60～100件	属性はセグメントなしになります。 プランのカスタマイズは対応致しかねます。
③企画特典				
特集ページから 貴社コンテンツへの誘導	○	○	—	
編集メルマガでの特集告知	○	○	○	
提供リード数合計（①+②）	210～250件	140～180件	60～100件	
スポンサー料金	¥1,900,000 (90万円OFF)	¥1,500,000 (60万円OFF)	¥300,000 (20万円OFF)	(税別、グロス)

■お申込み締切
プラチナ／ゴールドプラン：2020年12月4日（金）
シルバープラン：2020年12月18日（金）

※ 協賛企業の状況により実施しない可能性があります
※ 企画開始後のご協賛も可能ですが、開始時期によってご提供できないメニューがある可能性もございます。

スケジュール

	12月	1月	2月	3月
タイアップ記事制作 プラチナ／ゴールドプラン	★取材 ※12月23日締切*1 12月4日 お申し込み締切	制作	キャンペーン期間（1月下旬～） ※リード件数達成次第終了（最大2カ月間を予定しています）	
読者調査 プラチナ／ゴールド／ シルバープラン	★ 12月18日 シルバープラン お申し込み締切	読者調査実施 12月中旬～1月中旬	レポート制作	キャンペーン期間（1月下旬～3月下旬） ※掲載2カ月間 ★ 3月下旬 調査レポートで獲得 したリードの納品

*1 お申し込み締切間近でのご協賛の場合、取材候補日は事前にご連絡お願い致します。12月23日までに取材を行えない場合、1月下旬の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。
※ 読者調査の回答状況により、キャンペーン日程が変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

参考：製品レポート コンテンツサンプル

編集部によるインタビューや外部アナリストによる解説を交えたコンテンツを制作することで、本企画との連動感を高めることができます。企画／制作は編集部にお任せ下さい。

貴社製品ご担当者様インタビュー

メディア

検索

マイページ

ホーム

エレクトロニクス

組み込み開発

メカ設計

製造マネジメント

FA

オートモーティブ

医療機器

電力

キャリア

建築

土木

TechFactory > 設計・解析現場のフロントローディング実践をCAEクラウドが変える：ILD Cloud Service

2018年07月30日 10時09分 公開

経緯 日本アイ・ビー・エム株式会社

ILD Cloud Service :

設計・解析現場のフロントローディング実践をCAEクラウドが救う

設計・解析現場では、CAEを活用したフロントローディングによる品質の早期作り込みが進められているが、本業である設計・解析業務以外の「システムの管理」が現場担当者に大きな負担を強いているケースも少なくない。このトレンドを解消する手段として期待されているのが、CAEクラウドサービスの活用だ。

旧来の「コスト削減」や「持たない経営」などの強化」という「より積極的な目的」のためにク

製造工程の上流に位置付けられる設計・解析レーションへの要求レベルがこれまで以上に高ス環境のパフォーマンスや柔軟性に関する課題ジを十分に解決したIT人材の不足も相まって、根本業である設計・解析業務に集中できる企業は

しかし、現実を目を向けてみると、実際にどが、その選択に悩む企業も少なくない。事実、る品質シミュレーション要求に見合うクラウド計・解析部門が独自に進めるには仕様のミスマシステム部門主導による、設計・解析者の意向いてきぼりのクラウド導入だけは絶対に避け

ここでは、多くの設計・解析現場で導入されて紹介するとともに、製造業におけるクラウド

“競争力の強化”がこれまで以上に困難な



SRA ビジネスイノベーション本部 セールスマネージャの高野和吉氏

SRA ビジネスイノベーション本部 セールスマネージャを務める高野和吉氏は、「近年、高性能かつ多機能な製品開発が増え、CAEツールで実行すべき解析モデルが非常に大きくなってきています。その結果、解析時間が長くなり、コストの膨大化や納期の長期化を招いています」と指摘する。

高まるクラウドへの期待。CAEクラウドサービスの利点とは？

大規模な解析が必要であれば、計算機（コンピュータ）のパワーを増強する他ない。しかし、どこまでコンピューターリソースを拡張すればいいのか、どうやって適正化すればいいのか、設計・解析者がそれを判断するのは極めて困難だ。また、システム選定やメンテナンス作業などを、設計・解析業務を本業とする現場担当者に行うことが、単なる負荷としてだけでなく、重要な製品開発そのものにも影響を及ぼすということを十分に理解しておく必要がある。

メディア

検索

マイページ

ホーム

エレクトロニクス

組み込み開発

メカ設計

製造マネジメント

FA

オートモーティブ

医療機器

電力

キャリア

建築

土木

TechFactory > どれか1つでも当てはまったら必須：4つのあるある課題を解消する“オンリーワン”な設計環境

2018年06月21日 10時09分 公開

どれか1つでも当てはまったら必須：

4つのあるある課題を解消する“オンリーワン”な設計環境

「ライセンス費を抑えながらも業務に適した専門機能を欲しい」「CADデータの可用性を高めて設計作業を効率化したい」「異部門のやりとりの手際を改善したい」「AIやVRなど2D設計から3D設計へ移行したい」——。そんな設計部門のあるある課題を解決する“オンリーワン”な設計環境とは？

ご自身が所属する、あるいは準の設計部門から、以下のような悩みを聞いたことがないだろうか？

業務に適した機能を使いたい専門ツール（オプション機能）などを別途購入する余裕はない。また、時期によりCADオペレーターの数も変動するため、ツールのライセンスが足りないときもあれば、逆に余るときも非常にムダを感じる。

CADデータの可用性を高め、場所にとらわなく、USBメモリでの運用ではCADデータの管理が難しい心配だ。

他部門や協力会社などと頻りに異部門のやりとりのように変更されたのかを把握するのが大変だ。

そろそろ2D設計から3D設計へと移行したい。できれば、今の2D資産を有効活用

モノづくりを取り巻く環境が大きく変化する中



オートデスク 技術営業本部 テクニカルスペシャリストの大浦誠氏

一方、電気制御設計ソリューションの「AutoCAD Electrical」では、電気制御設計に必要なシンボルが用意されている他、回路図の情報から機器配置図を作成する専用機能なども備えている。「いずれも、AutoCAD単体で作図するよりも格段に作業を効率化できる」（大浦氏）という。

さらに、その他のオートデスク製品を含めた本格的な環境として、業界別コレクションも用意。例えば、製造業向けであれば、製品設計、製造プロセス、工場レイアウトなどが可能な「Product Design & Manufacturing Collection」を提供しており、AutoCADはもちろんのこと、「Autodesk Inventor Professional」や「Autodesk Fusion 360」など、豊富なツール群を利用できる。

ご存じの通り、オートデスク製品は全てサブスクリプション方式で提供されているた

参考）日本アイ・ビー・エム株式会社様

参考）オートデスク株式会社様

参考：読者調査連動シリーズ企画 2020年度テーマ予定

実施月	テーマ
2020年度	4月 安全安心なIoT機器実現の課題
	6月 設計製造の品質管理
	8月 つながる工場（製造IoT）
	9月 電気設計者の課題
	2月 モノづくり設計者のワークスタイル



※ テーマ、スケジュールは現時点での予定となり、変更になる場合もございます。
※ 各テーマごとに企画書をご用意しております。詳細は担当営業までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

アイティメディア株式会社

営業本部

TEL : 03-6893-2247 / 2248

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

会員プロフィールや特集予定、お問い合わせはこちら

<http://corp.itmedia.co.jp/ad/>

